



Toneyama Kojin

記念美術館通信

Memorial Art Museum News Letter

〒024-0043 岩手県北上市立花15-153-2

TEL/FAX 0197-65-1808

令和5年度
中期企画展ジャンルを超えたエネルギーギッシュな造形活動を
拡大規模で紹介つくる巨人
岩間正男展

本展は、没後10年となる「つくる巨人」岩間正男がその87年の生涯で遺した作品群を振り返り、ジャンルを超えた精力的な造形活動を回顧する企画展です。彼の作品の規模の大きさや扱う素材の多彩さは驚くばかりで、画家という枠にはとどまらない、まさに「つくる巨人」と称するにふさわしい作家です。

利根山光人画伯が北上にアトリエを構えたころ、岩間氏も地元の芸術家として画伯を歓迎し、交流を重ねています。兩人とも地元の民俗芸能、鬼剣舞や鹿踊りに向ける視線は熱く、遺された多くの作品が今でも我々を楽しませてくれます。

大らかなメキシコの風土を感じさせる利根山の明るくのびやかな表現に対し、岩間の作品には、素早く的確なタッチでありながらもどこか哀愁を帯びた佇まいに見えるものもあります。当館での展示ではそうした民俗芸能を題材にした絵画のコラボレーションも味わっていただきたいものです。北上を拠点として幅広い造形活動をした巨人の描いた軌跡を多くの方々と共有し、宇宙にさえ呼応する土着のエネルギーのようなものを共に感じ取ることができたら幸いです。

なお、本企画展は拡大規模で実施し、関連展示やイベントを下記のとおり行います。県内外で制作された大規模なパブリックアートや本展監

修を務めた佐藤清美氏撮影による岩間氏の肖像写真も合わせてご観覧ください。

6月3日(土)～
8月31日(木)

油彩「鬼剣舞」

市内の和食店・きたかみ風土所蔵作品。連携企画展で展示する。

関連展示「岩間正男のパブリックアート
と肖像写真」

市内外に残るパブリックアートを写真で紹介している。駅前の生涯学習センターギャラリーにて展示中。

関連展示・イベント

・岩間正男のパブリックアートと肖像写真

会場：おでんせプラザぐるーぶ3階生涯学習センターギャラリー 会期：6/3(土)～8/31(木)

・市内3館連携企画展

第1期 会場：北上市立鬼の館

会期：6/22(木)～7/23(日)

第2期 会場：北上市立博物館

会期：7/29(土)～8/20(日)

・博物館開館50周年クロストーク「岩間正男の思い出」

会場：博物館本館 日時：7/29(土)10時～

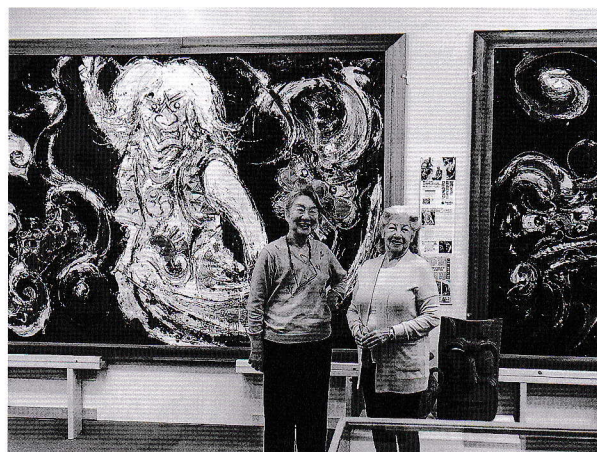
メヒコの魅力 前期企画展「VIVA MEXICO」を終えて

前期企画展「VIVA MEXICO (ビバ・メヒコ)」が閉幕しました。神秘的でありながらもシンプルで、どこかユーモラスなメキシコの造形美に、改めて見入った方も多かったようです。生涯学習センターギャラリーにおける関連展示、「メキシコの仮面」も異国独特の造形センスを感じさせました。

開催期間中、利根山画伯のご長女立花雅子さんがメキシコからの友人・エスペランザさんを連れて来館しました。画伯が描いたメキシコの風景や民族衣装について解説してください、いっそうメキシコに対する理解が深まったひとときでした。

また、メキシコ出身で京都精華大学の学生フランコ・アルバレス・イスマエルさんが昨秋来館し、調査を行っています。その研究成果は「佐久間ダムと1955年のメキシコ美術展：利根山光人への衝撃」という論文にまとめられ、今春抜き刷りが館に届けられました。「佐久間ダム」工事現場でのスケッチ取材と1955年の東京国立博物館における「メキシコ美術展」が利根山画伯の人生と画業の転機となったことが論じられています。

この6月中旬からその東京国立博物館で、「メキシコ美術展」以来となるメキシコをテーマとした大規模な展示会「古代メキシコ展」が開催されます。中期企画展で取り上げる造形作家・岩間正男も若い頃、メキシコに渡った芸術家の一人でした。奇しくもこの時期にメキシコとの関わりが多くありました。芸術家達を惹きつけたMEXICO (メヒコ) の魅力をさらに探求していきたいものです。



雅子さんとエスペランザさん来館時の様子

～@TONE美～ ARTのある「まちづくり」へ — 2021年記念事業を振り返る — ⑤

学校との連携は美術館の課題である。企画展のPRのため学校に出向く機会も増えた。地元の立花小学校(当時)は学校のカリキュラムの一環として毎年来館している。この年も4～6年生45人に対して大作「阿吽」の前でガイダンスを行った。興味深そうに作品に見入るその様子は「広報きたかみ」の表紙に、そして次期企画展のチラシにも採用された。さらには取材を生かし子供たちが学校で作成したしおりが市に寄贈され、美術館で配布させていただいた。こうした循環



メモをとりながら熱心に見学する小学生

は本当に素敵なことだと思う。ちなみにこの「広報きたかみ」では「光人と北上」というタイトルで4ページにわたって記事が掲載され、記念事業の趣旨が市民に広く周知された。(次回へ続く)



6名で
わきあいあいと
活動中
(全10回)

4月8日(土)から、生涯学習センターにて美術館絵画教室を開催しています。はじめは鉛筆デッサンを学び、現在はそれぞれの希望に合わせて水彩と油彩に取り組んでいます。成果作品は秋に展示予定です。



発行 北上市まちづくり部生涯学習文化課
〒024-0061 岩手県北上市大通り1-3-1
電話 0197-72-8304 FAX 0197-63-3121

利根山光人記念美術館
●開館時間 10:00-16:00
(最終入館は15:30まで)